

表側：Q25 健康の平等に関する意識

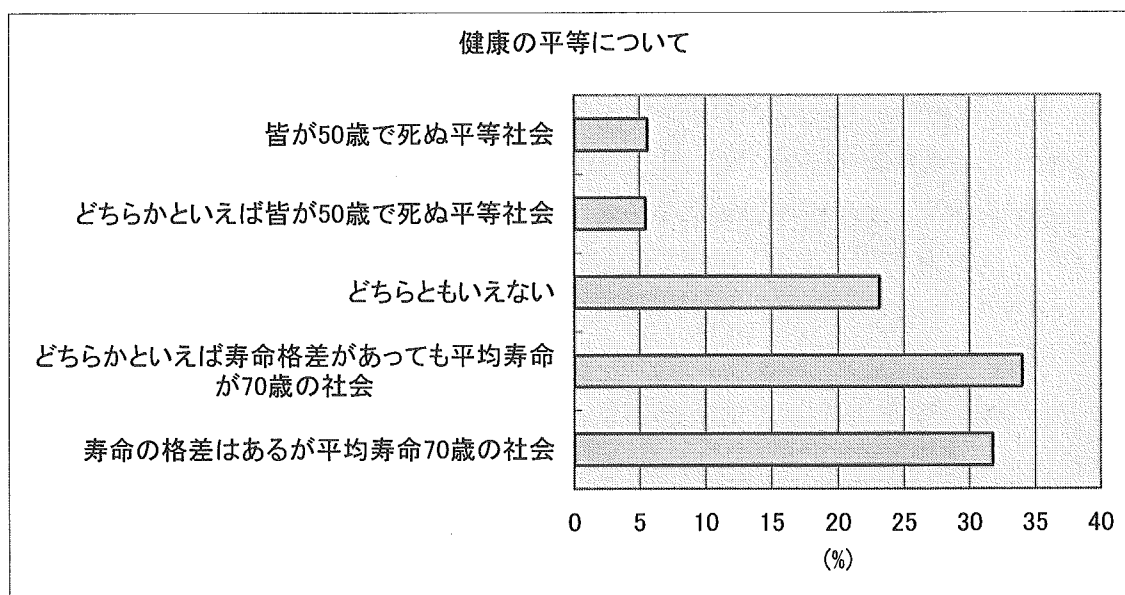


図 24 次に年齢層ごとにみる。寿命格差を容認する傾向が最も強いのは60代で、「寿命の格差はあるが平均寿命 70 歳の社会がよい」と「どちらかといえば寿命の格差はあるが平均寿命 70 歳の社会がよい」をあわせて、74%ほどになる。対して最もこのような立場の人が少ないのは20代で、63%ほどである。

表頭 Q2_1：回答者の年齢

表側 Q25：健康の平等について

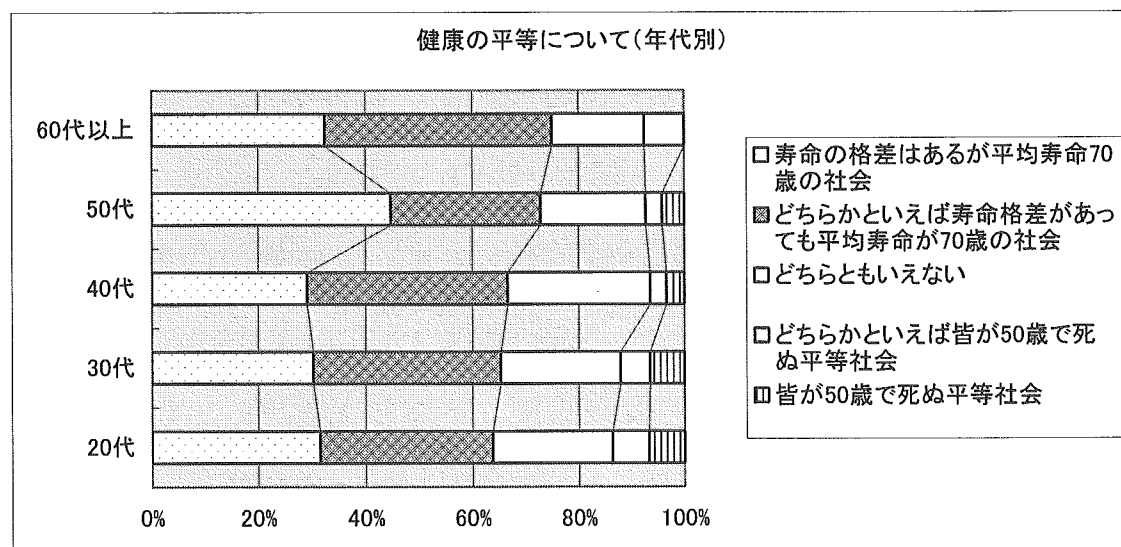


図 25 次に性別ごとに健康に関する平等意識を概観する。「寿命の格差はあるが平均寿命 70 歳の社会がよい」と「どちらかといえば寿命の格差はあるが平均寿命 70 歳の社会がよい」をあわせて、男女とも 65%ほどであり差はない。また「寿命の格差はあるが平均寿命 70 歳の社会がよい」と「どちらかといえば寿命の格差はあるが平均寿命 70 歳の社会がよい」をあわせて、女性は 10%程度で、男性は 12%ほどと、この点でもあまり違いはない。

表頭：Q1 性別 表側：Q25 健康に関する平等意識

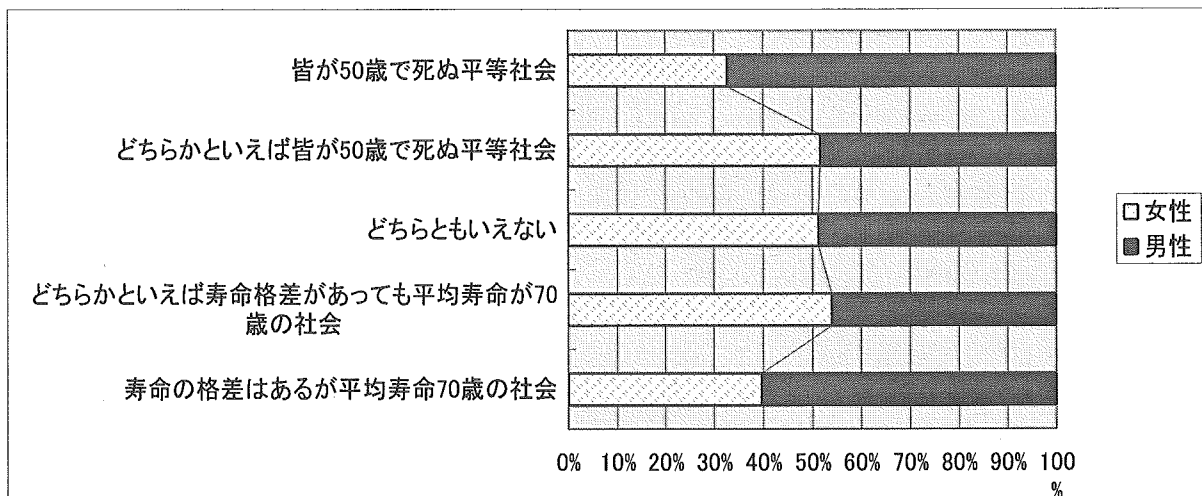


図 26 生活水準の認識

現在の生活水準に関して質問したところ、「ふつう」と回答した人が 54%と最も多かった。

「非常に豊かだと思う」および「概ね豊かだと思う」と回答した人は 31%程度で、「非常に貧しいと思う」および「概ね貧しいと思う」と回答したひとは 14%であった。

表側：Q26 生活水準に関する認識

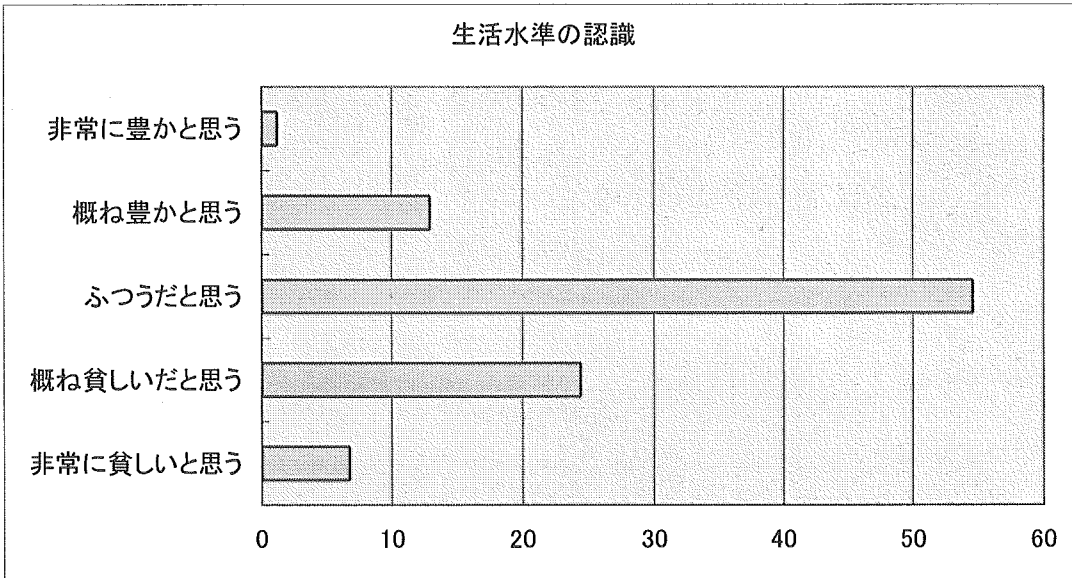


図 27 次に年齢層ごとに生活水準の認識を概観すると、すべての年齢層で「ふつうだと思う」が一番多い。「非常に貧しいと思う」および「概ね貧しいと思う」と思っているひとは、50代が最も多くて36%ほどになっており、30代が33%でそれに続いている。

一方「非常に豊かだと思う」および「概ね豊かだと思う」と思っているひとは、20代が最も多かった。

表頭： Q2_1 年齢層 表側： Q26 生活水準に関する認識

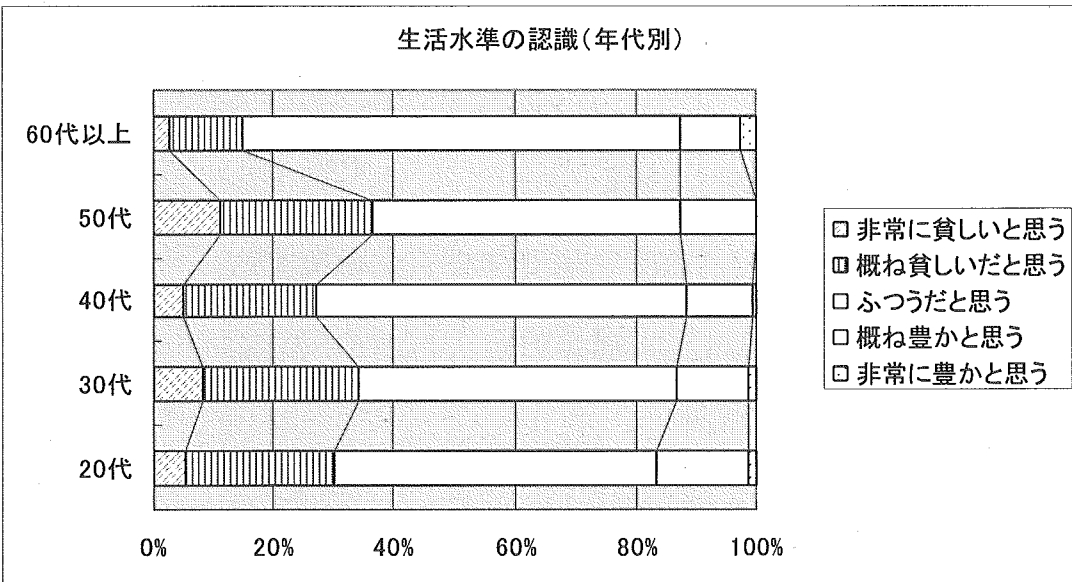


図 28 次に性別ごとに生活水準の意識を概観する。「非常に貧しいと思う」および「概ね貧しいと思う」と思っているひとは、女性が 29%であるのに対して、男性は 35%ほどである。一方「非常に豊かだと思う」および「概ね豊かだと思う」と思っているひとは、女性 16%、男性は 13%である。生活水準に関する意識については、あまり性差はないようと考えられる。

表頭：Q1 性別 表側：Q26 生活水準に関する意識

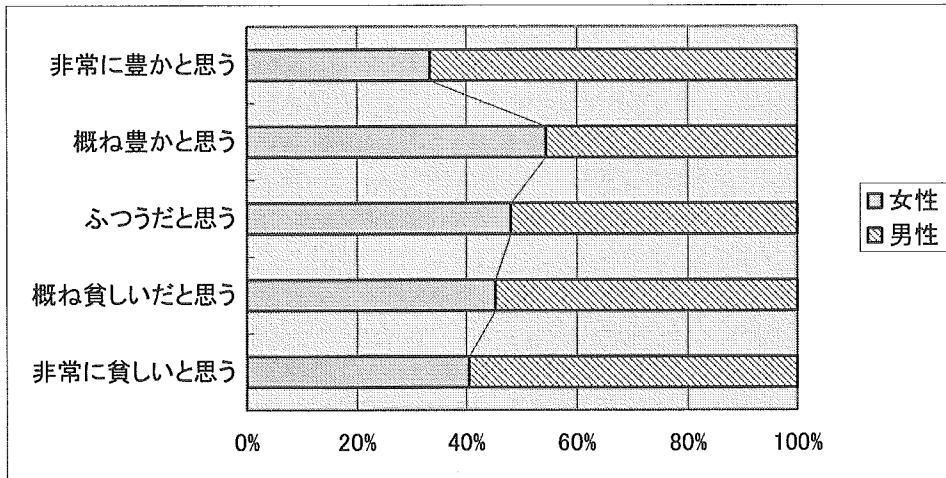


図 29 回答者に「いま、自分で幸せと思うか」と聞いたところ、「概ね幸せだと思う」と回答した人がもっとも多く、39%いた。「非常に幸せだと思う」という人もあわせると、現状を幸せだと思っている人は、52%になる。一方、あまり「非常に不幸だと思う」と「あまり幸せとは思わない」をあわせて現状を幸せだと思っていない人は、18%ほどいる。

表側：Q27 回答者の幸福に関する意識

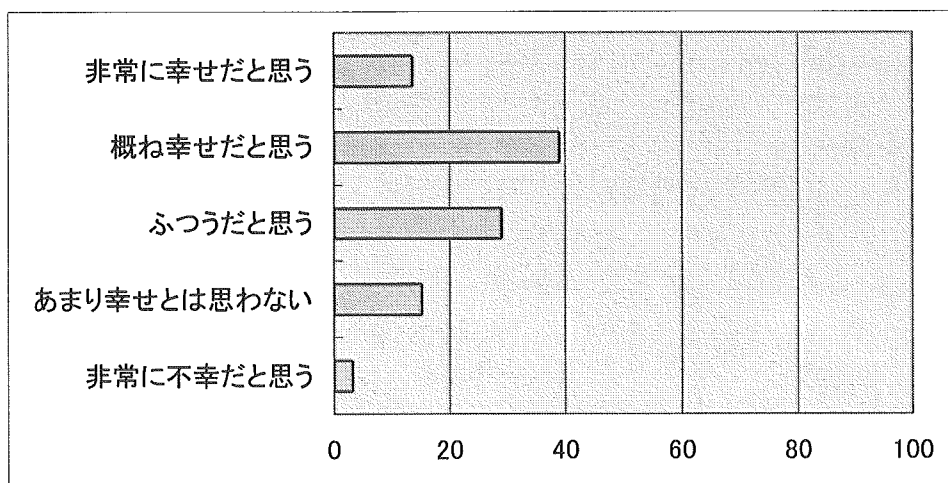


図 30 さらに年齢層別に幸福感について概観すると、「非常に不幸だと思う」および「あまり幸せとは思わない」というひとは、20代、40代で約20%と最も多く、「非常に幸せだと思う」および「概ね幸せだと思う」というひとは30代で最も多く、55%程度いる。しかし年齢層によってそれほど大きな違いはない。

表頭：Q2_1 回答者の年齢 表側：Q27 幸福に関する意識

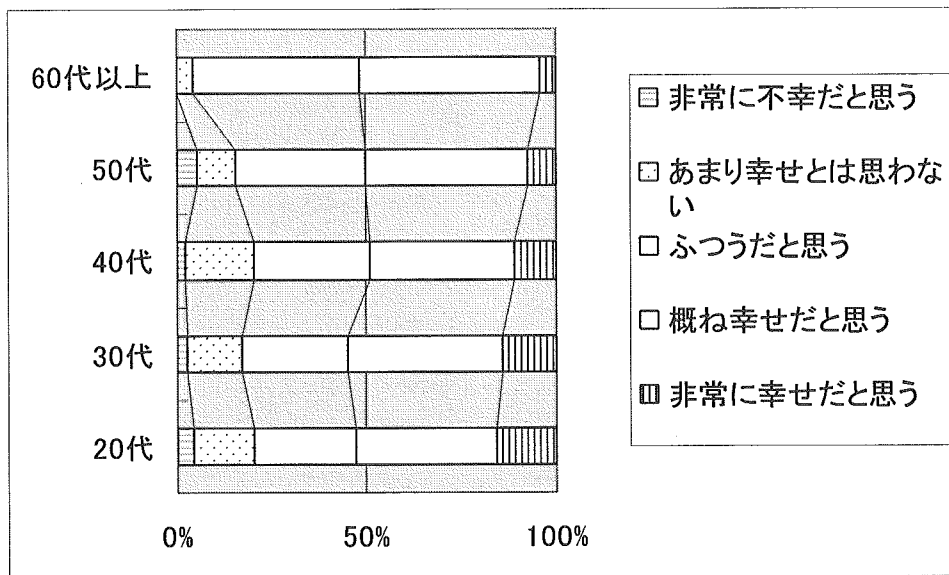


図 31 平等感, 羨望感に関して.

あなたは、あなたより豊かな生活をしている人たちが住む町で暮らすのと、貧しい人たちが住む町で暮らすのとどちらを選びますか？安全性や利便性などは変わらないとします。

この質問に対して、圧倒的に多かったのは「自分と同じくらいの生活をしている人たちが住む町」で、62%いた。

表側：Q28 平等感, 羨望感に関して.

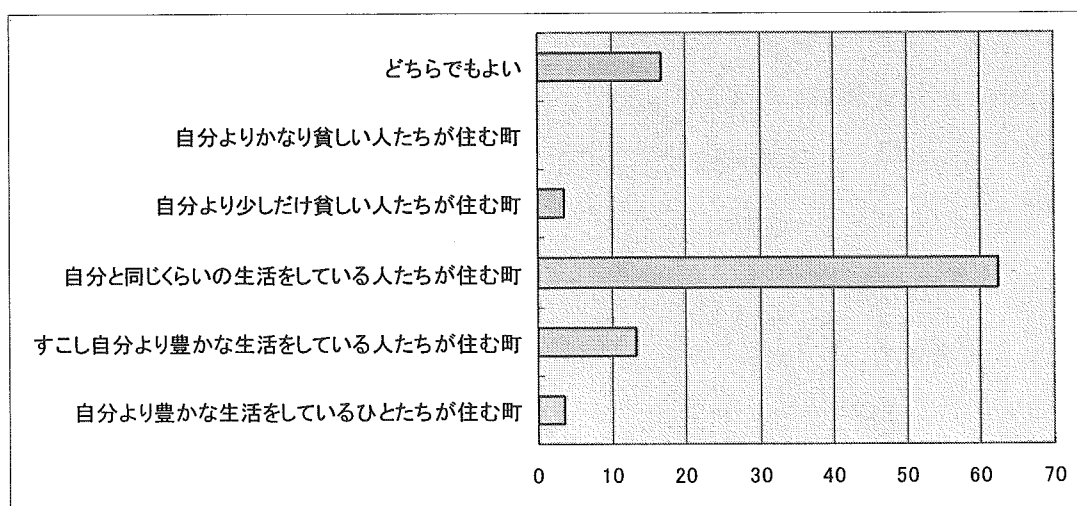


図 32 年齢層ごとにみても、「自分より豊かな生活をしているひとたちが住む町」および「すこし自分より豊かな生活をしているひとたちが住む町」を選ぶ人が、30代で若干多く、20%程度いるが、年齢層によって大きな違いはない。ただし、60代以上に関しては「自分たちと同じくらいの生活をしている人たちが住む町」を選ぶ人が他に比して若干多く、77%程度いる。

表頭 Q2：年齢層

表側 Q28：平等感，羨望感について

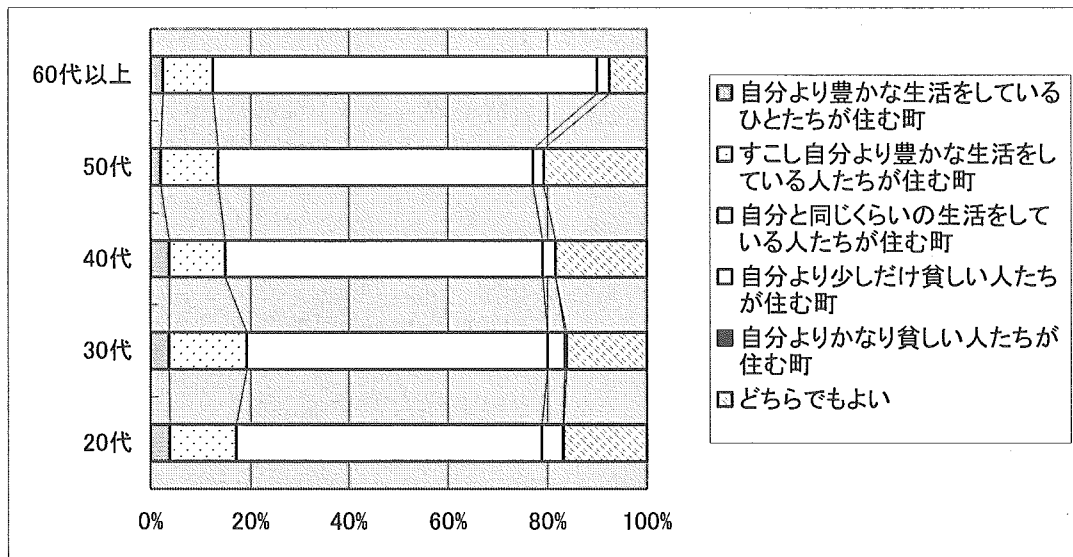


図 33 医療機関での経験について

これまでかかった医療機関のなかで、該当するような経験があったかをたずねた結果、医師に不信感を抱いたことのある人が61%あると回答した。一方で医師は自分の意志を尊重してくれたとの思っている人も、43%いた。

表側：Q29

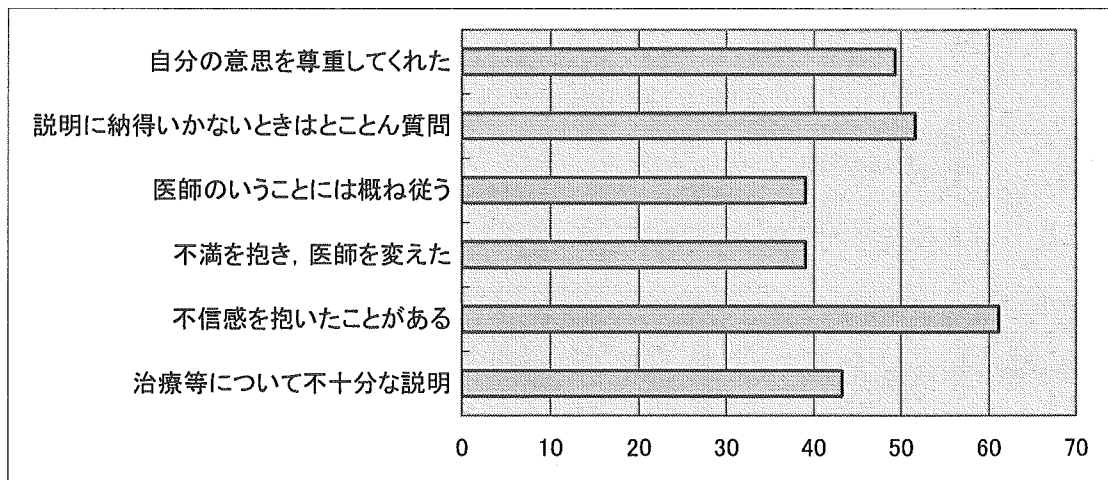
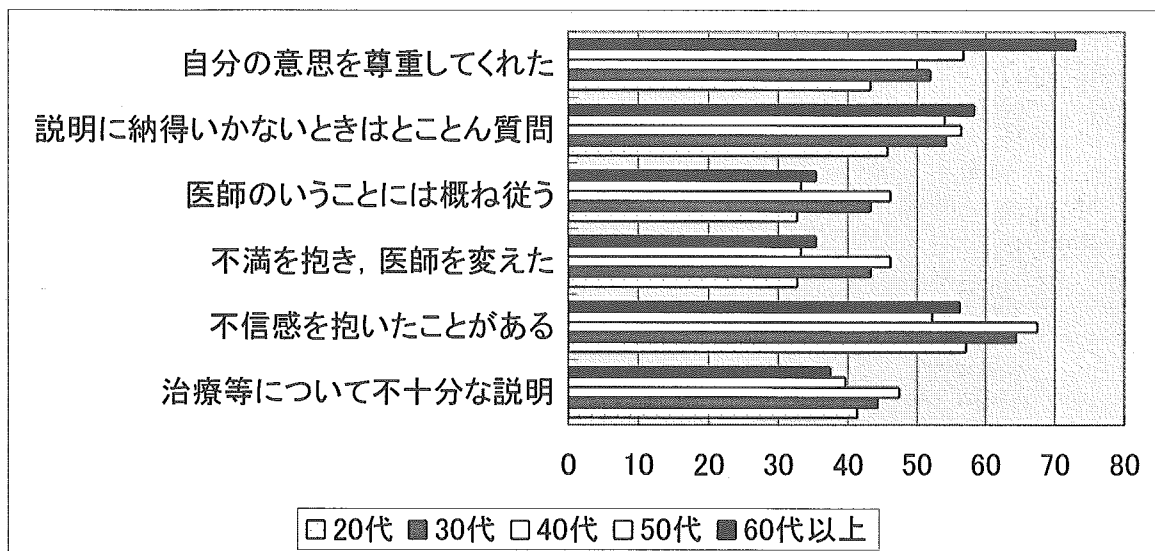


図 34 年齢層別に見てみると、各年齢層で大きな違いはないが、医師が自分の意志を尊重してくれたと感じているのは 60 代以上が最も多く、治療などについての十分な説明が無かったり、不信感を抱いたことがあると感じているのは、20 代で最も多かった。

表頭 Q2_1：年齢層 表側 Q29 医療機関における経験



Ⅲ その他個人属性

図 35 回答者の性別と年齢構成

表頭：Q1 性別 表側：Q2_1 回答者の年齢

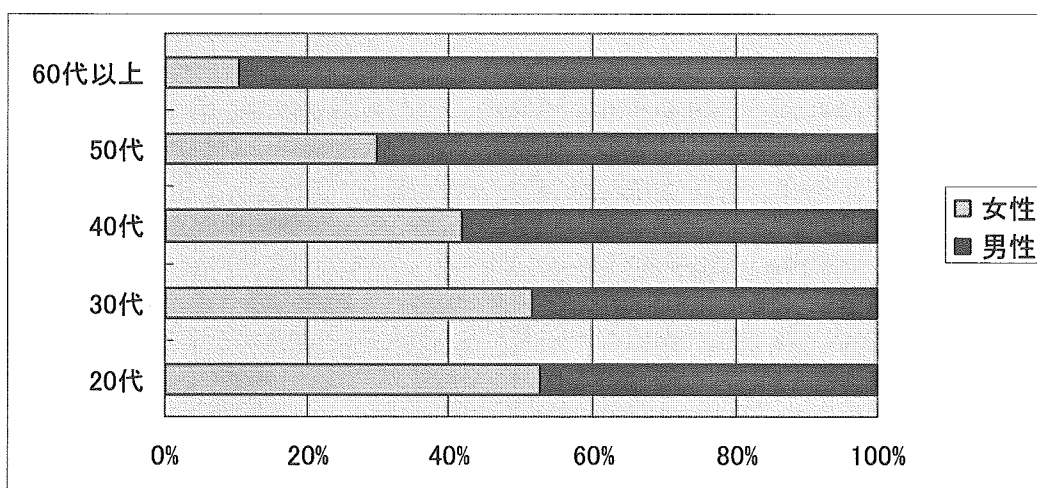


図 36 回答者の学歴と年齢構成. 20代は専門学校卒以上が総じて多く, その割合は概ね年齢層があがるにつれて小さくなる傾向にはあるが, 60代以上になると多少大きくなる.

表頭: Q3 学歴 表側: Q2_1 年齢

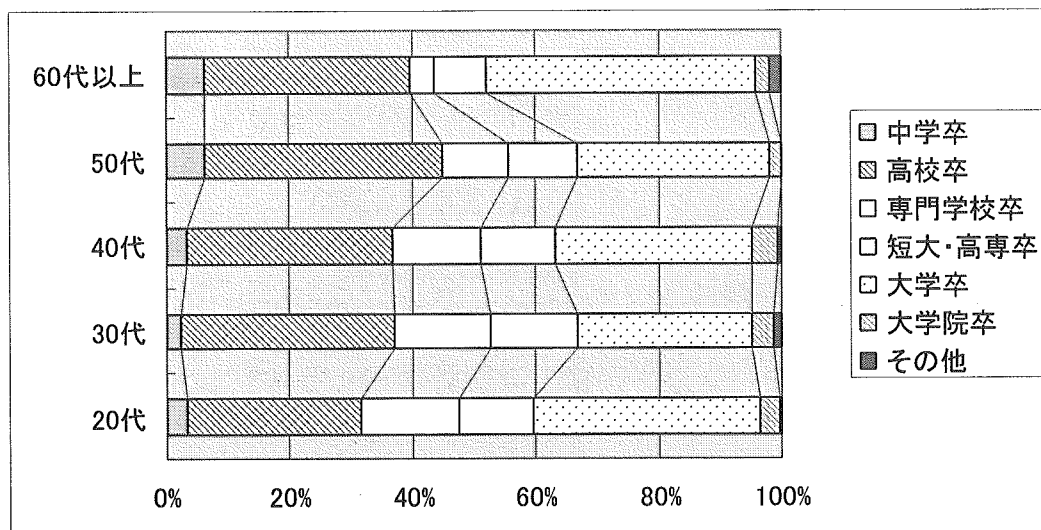


図 37 年齢別世帯人数

単身世帯は年齢層があがるにつれて減少していく. 最も多い20代で32%程度いる. 60代以上は他の年齢層に比して圧倒的に二人世帯が多い.

表頭: Q3 同居し, 生計を一にしている家族 表側: Q2_1 回答者年齢

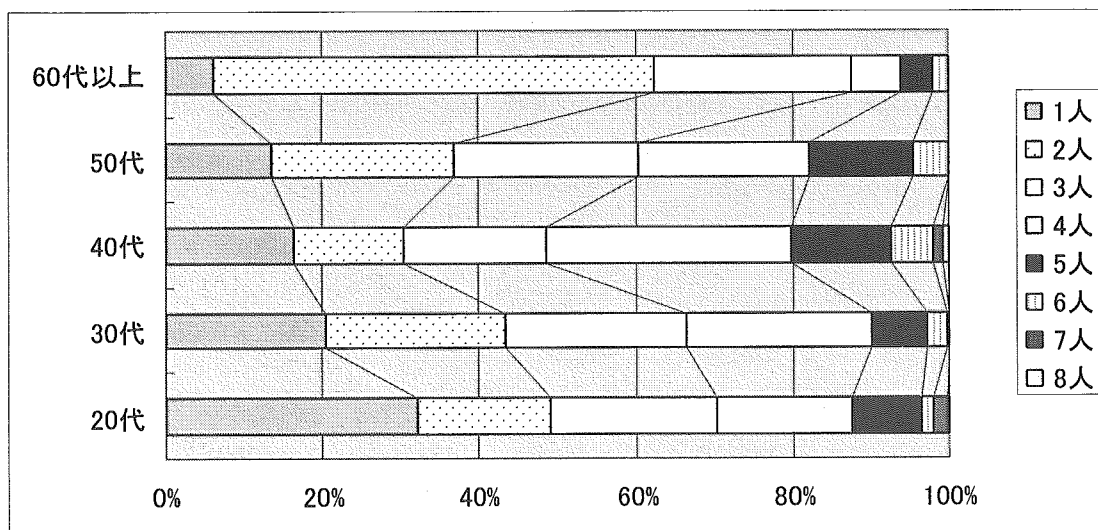


図 38 就労率は 20 代から 50 代までは 90% を超えるが、60 代以上は 58% に下がる。

表頭：Q5 就労の有無 表側：Q2_1 回答者年齢

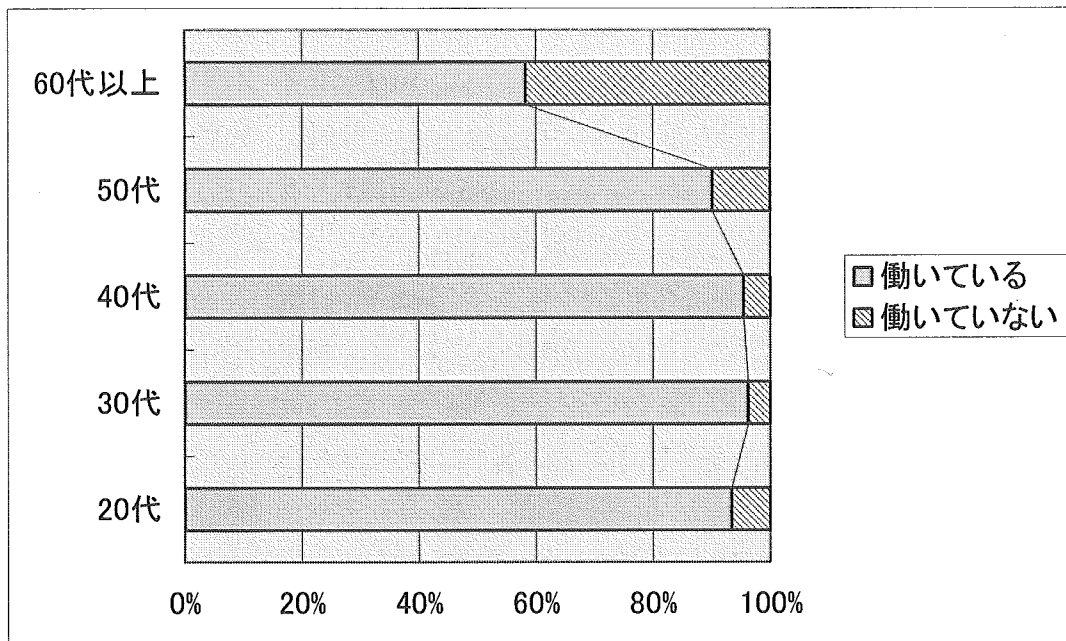


図 39 正社員・職員は 40 代、50 代で最も多く、それぞれ 49%、48% に達する。60 代になると定年が影響してか、15% 程度に低下する。自営業は年齢層が上がるにつれ増える傾向にあり、60 代で 19% と最も高い。

表頭：Q5 就業形態 表側：Q2_1 回答者の年齢

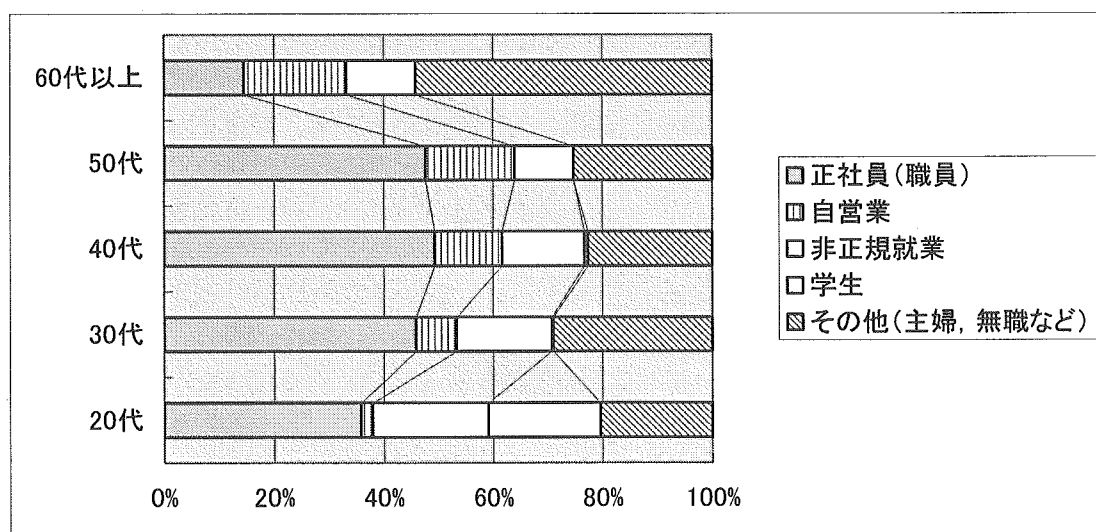


図 40 正社員にしめる男性の割合は 73%と、女性に比して圧倒的に多い。また自営業はさらに男性の占める割合が 81%に達する。反対に非正規就業（パートや派遣社員など）に関しては女性の占める割合が 70%であり、男性を逆転する。

表頭：Q1 性別 表側：Q5 就業形態

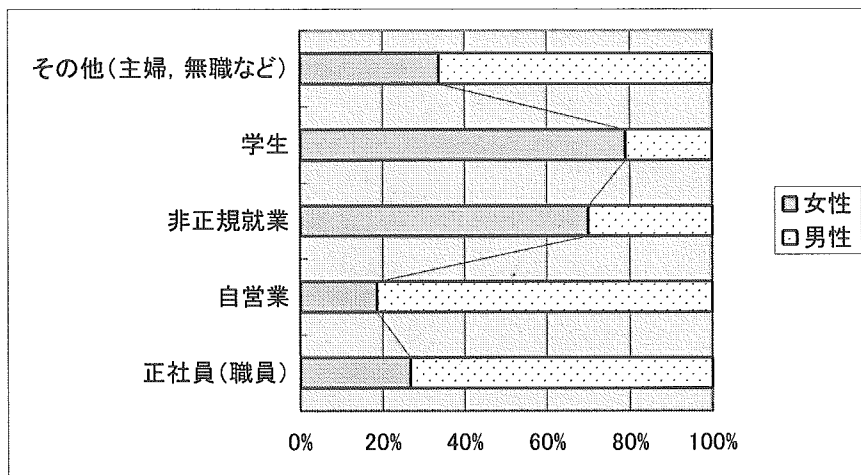


図 41 各職業に対する男性・女性が占める割合

女性が過半数を示す職業としては、医療・福祉、飲食・宿泊業、教育学習支援などが上げられる。

表頭：Q1 性別 表側：Q6 職種

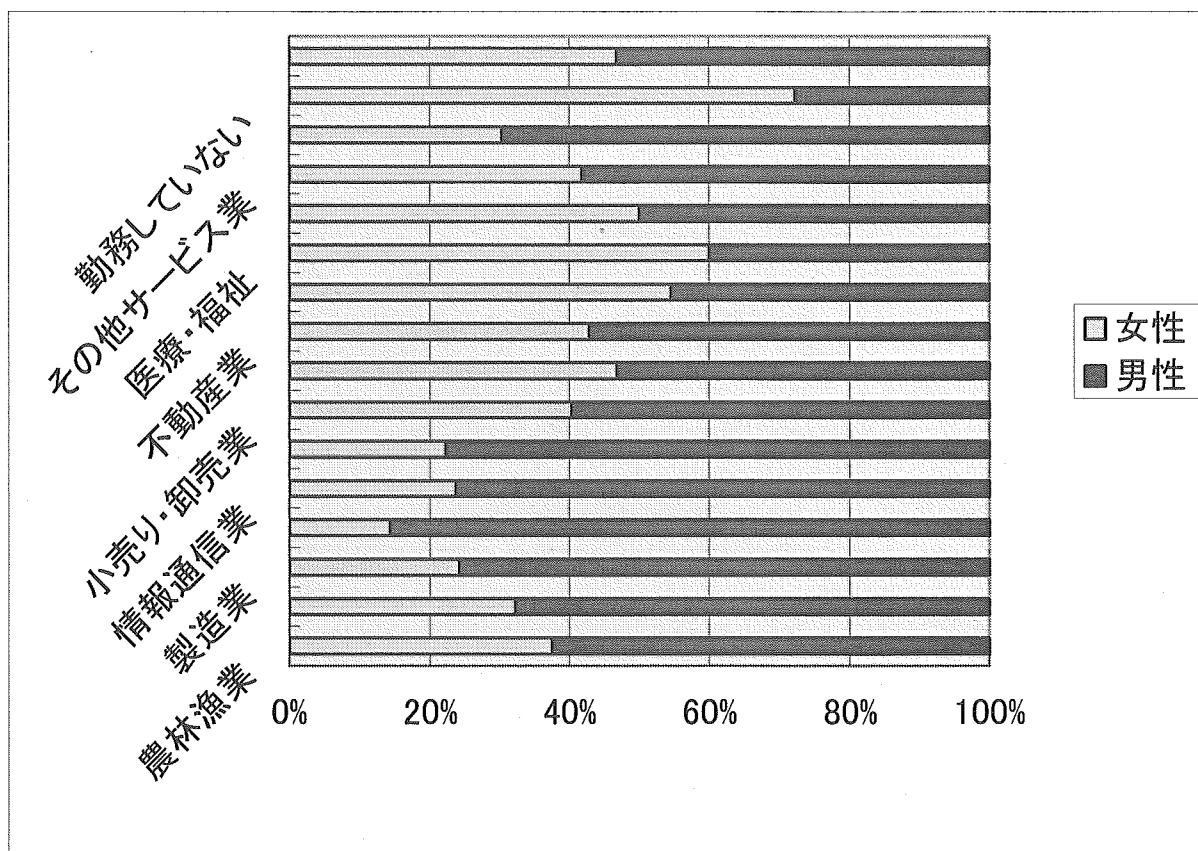


図 42

職種ごとに年齢構成をみると、情報通信産業や飲食・宿泊業では 20 代、30 代がその 8 割を占めている。比較的 60 代以上の人が多いのは、教育・学習支援、運輸業などである。

表頭：Q2_1 回答者の年齢

表側：Q6 職種

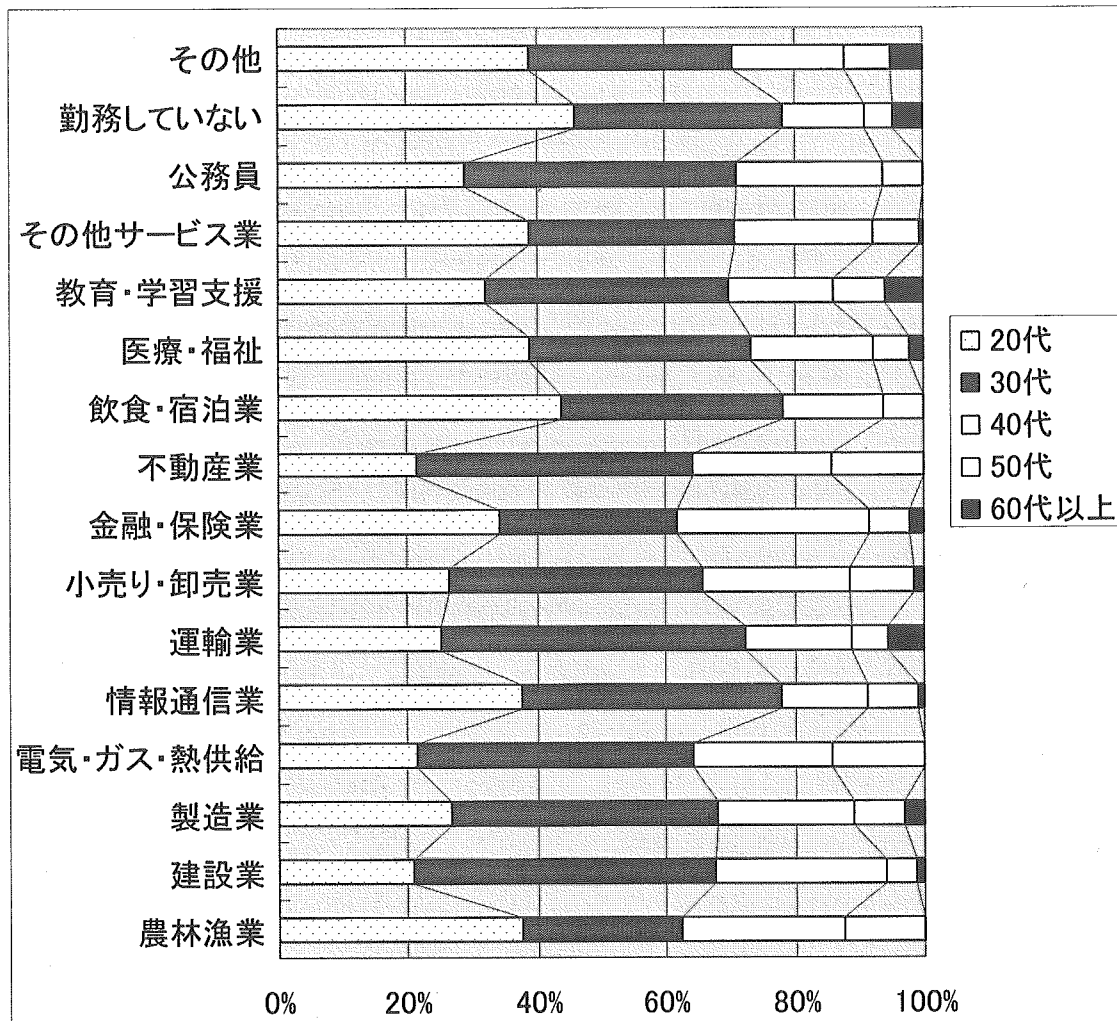


図 43 20代は世帯収入 300～400 万未満が最も多く、30代は 300～400 万未満および 400～500 万未満が同程度に、40代は 500～600 万未満および 600～700 万未満が同程度に、50代は 900～1000 万未満が最も多い。このように年齢層が上がるとともに高い世帯収入を得ている家計が増える傾向にあるが、60代以上では 300～400 万未満の家計が最も多くなる。

表頭：Q7 昨年度の世帯年収 表側：Q2_1 回答者の年齢

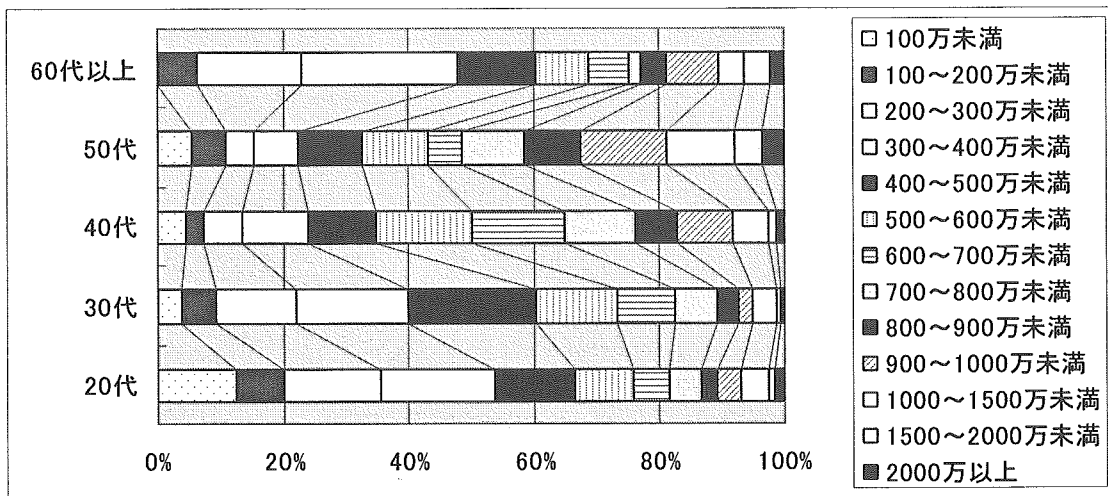
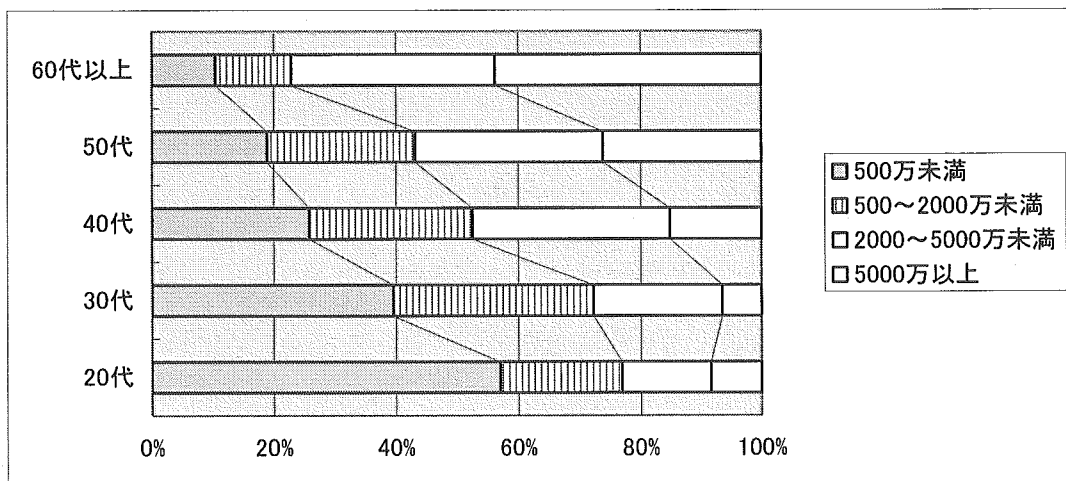


図 44

年齢が上がるとともに、おおむね世帯あたりの資産額（土地・住宅資産および金融資産）は上昇する。渡航に 60代は他の年齢層に比して 5000 万以上の資産を所有している世帯が多く、44%ほどいる。60代以上で資産額 500 万未満の世帯が 10%程度なのに対して、20代では 57%いる。先に、所得と年齢の関係では、50代までは年齢が上がるとともに世帯収入が増え、60代以上で急に下がる傾向が観察されたが、資産に関してはその逆の傾向がみとれる。

表頭：Q8,Q9 資産総額（土地・住宅および金融資産）表側：Q2_1 回答者の年齢



Ⅲ. 調査票

問 1 あなたの性別を教えてください。

男性

女性

問 2 あなたの年齢を教えてください。また現在同居して生計をともにしている方で次の該当者がいれば、その方の年齢を教えてください。該当者がいない場合は「該当者なし」を選んでください。

表側

ご本人

配偶者の方

お子様（一人以上いらっしゃる場合は末子の年齢）

表頭

0～3歳未満

3～9歳未満

10代

20代

30代

40代

50代

60代以上

該当者なし

問 3 現在同居して生計をともにしているご家族（あなたを含め）は何人おられますか？

1人（単身）

2人

3人

4人

5人

6人

7人

8人

9人

10人以上

問 4 あなたと配偶者、およびあなたの父親、母親の最終学歴を教えてください。
配偶者がいない場合はその他をお選びください。

表側

ご本人
配偶者の方
ご本人の父親の学歴
ご本人の母親の学歴

表頭

中学卒
高校卒
短大・高専卒
大学卒
大学院卒
その他

問 5 あなた、および配偶者のかたの就業形態であてはまるものを教えてください。配偶者がいない場合はその他をお選びください。

表側

正社員
自営業者
契約社員
派遣社員
パート・アルバイト
臨時・日雇い
請負社員
専業主婦
無職
学生
失業（雇い主の都合によるもの）

失業（自分の都合によるもの）

その他

表頭

ご本人
配偶者の方

問 6 あなたの現在のお勤め先の業種は、次のどれに当てはまりますか？

- 農林漁業
- 建設業
- 製造業
- 電気・ガス・熱供給
- 情報通信業
- 運輸業
- 小売り・卸売業
- 金融・保険業
- 不動産業
- 飲食・宿泊業
- 医療・福祉
- 教育・学習支援
- その他サービス業
- 公務員
- その他

問 7 あなたの世帯およびご本人における、昨年一年間の税込み所得は合計して
いくらくらいでしたか？

表側

- 100万円未満
- 100～200万円未満
- 200～300万円未満
- 300～400万円未満
- 400～500万円未満
- 500～600万円未満
- 600～700万円未満
- 700～800万円未満
- 800～900万円未満
- 900～1000万円未満
- 1000～1500万円未満
- 1500～2000万円未満
- 2000万円以上

表頭

ご本人

世帯全体

問8 世帯全体（あなた、配偶者の他に生計を一にしているものがいれば含めてください）が所有している住宅、土地などのおよその時価総額はどれくらいですか？

- なし
- 300万円未満
- 300～800万円未満
- 800～1200万円未満
- 1200～2000万円未満
- 2000～3000万円未満
- 3000～5000万円未満
- 5000～1億円未満
- 1億円以上

問9 世帯全体（あなた、配偶者の他に生計を一にしているものがいれば含めてください）の金融資産（貯金、株、債権など）はおよそどれくらいですか？

- なし
- 300万円未満
- 300～800万円未満
- 800～1200万円未満
- 1200～2000万円未満
- 2000～3000万円未満
- 3000～5000万円未満
- 5000～1億円未満
- 1億円以上

問10 あなたのお宅ではどのような種類の民間保険に入っていますか？（郵便局の簡易保険も含む）加入しているものすべてを選択してください。

- 入っていない
- 生命保険
- 医療保険（生命保険の医療保険特約も含む）
- 癌保険
- 個人年金
- 個人介護年金
- その他

問11 あなた、およびあなたの配偶者に持病はありますか？ 配偶者がいない方で 「持

病無し」の方は選択肢1番目を、「持病有り」の方は選択肢2番目をお選びください。

- 自分も配偶者も持病は無い
- 自分に持病があり、配偶者には無い
- 自分に持病は無いが、配偶者は有る
- 自分も配偶者も持病が有る

問 12 あなた、およびあなたの配偶者の持病に関して、次のうち当てはまるものを教えてください。(当てはまるものすべて) 配偶者がいない方配偶者欄の「その他」をお選びください。

表側

- 持病なし
- 高血圧・動脈硬化などの血圧・血管関係の持病
- 狭心症などの心臓関連の持病
- 糖尿病などの糖尿関連の持病
- 脳梗塞・くも膜下出血などの脳関連の持病
- 慢性胃炎、胃潰瘍、十二指腸潰瘍などの消化器系関連の持病
- ぜん息、慢性気管支炎などの呼吸器系関連の持病
- 腰痛や肩こり・関節炎・リウマチなどの持病
- 緑内障・白内障などの眼関係の持病
- 腎臓病、腎不全などのじん臓関係の持病
- いぼ痔、切れ痔などの肛門系の持病
- その他

表頭

- ご本人
- 配偶者の方

問 13 持病があると回答した、あなたご本人にお聞きします。月何回ほど通院していますか？(複数の持病で通っている場合は、その合計で答えてください) ※あなたご自身に持病が無い方は、「次へ進む」ボタンを押して下さい。

- 1回
- 2～3回
- 4～5回
- 6～8回
- 9回以上

問 14 あなた、および現在生計をともにしているご家族のなかで、過去に入院や手術を伴うような大病をしたことがある方はおられますか？該当者がいない場合は「該当者なし」を選んでください。

表側

ご本人
配偶者
配偶者以外で生計を同一にしている家族

表頭

ある
ない
該当者なし

問 15 あなたご本人の現在の健康状態として当てはまるものはどれですか？

おおむね健康
ときどき病気になる
治療中

問 16 あなたの生活習慣について当てはまるものはどれですか？

表側

喫煙の習慣はありますか？
飲酒の習慣はありますか？
週一回以上、定期的に運動する習慣はありますか？
年一回以上、定期検診を受けていますか？

表頭

はい
いいえ

問 17 あなたのお住まいの都道府県は次のどれですか？

【固定プルダウンの都道府県名】

問 18 あなたが普段お出かけになるとき、傘を持って出かけるのは降水確率が何パーセント以上のときですか？

- 30%未満
- 30%以上～40%未満
- 40%以上～50%未満
- 50%以上～60%未満
- 60%以上～70%未満
- 70%以上

問 19 あなたが本日、健康診断をしたところ、末期の「がん」が発見され、治療をしても余命は1年程度と診断されたといたします。ただし、現在日本で認められていない最先端の医療を受けられるのであれば、健康を完全に回復し、確実に余命を延ばすことができるいたします。1年間余命を延ばすことの値段が以下のような場合、あなたは何年間余命を延ばしたいと望みますか？それぞれの値段について、延ばしたい余命の年数として一番ふさわしいものにチェックを入れてください。ただし、この最先端治療は医療保険の使用は認められていないため、「延ばす余命の年数×1年分の値段」の負担が全額自己負担となります。一方、医療保険の中の治療をしても1年間だけは生きることができるとにご注意ください。

表側（一年分の値段）

- 年間250万円なら
- 年間500万円なら
- 年間1000万円なら
- 年間2000万円なら
- 年間3000万円なら

表頭（延ばす年数）

- 延ばすつもりはない
- 1年以上～3年未満延ばす
- 3年以上～6年未満延ばす
- 6年以上～10年未満延ばす
- 10年以上～15年未満延ばす
- 15年以上延ばす

問 20 今度は別の想定です。あなたが本日健康診断をしたところ、早期の「がん」が発見されたとします。ただし、根治は難しい臓器のがんであるために、治療をしても余命は10年程度と診断されたといたします。ただし、日本で現在認められていない最先端の医療を受けられるのであれば、健康な状態で、余命をもっと延ばすことができるといたします。余命を追加的に1年間延ばすことの値段が、以下のような場合、あなたは何年間余命を延ばしたいと望みますか？それぞれの値段について、延ばしたい余命の年数として一番ふさわ